

わかあゆ

<http://www.nakagawa.ed.jp/esbato/>

- 町民体育館でオズの魔法使い
- 学校評議員会開催
- 園児が小学校訪問
- 見守りありがとう！（老人会见守り隊）
- お世話になりました（読み聞かせ）
- いじめを防ぐー大沼えりこさん講演ー

平成 25 年 2 月 28 日
馬頭小学校
TEL0287-92-2025
FAX0287-92-2029

町民体育館でオズの魔法使い



演劇教室 2月19日(火)

2月19日(火)、馬頭町民体育館で演劇教室が開催され、全校児童が観劇しました。出し物は、劇団「きやろっと」による「オズの魔法使い」です。主人公のドロシーの他に、脳みそのないかかしや、心のないブリキの木こり、臆病なライオンなど、ユニークなキャラクターが登場し、それぞれの願を叶えるために冒険をします。劇の中では、児童も、事前に練習していた「黄色いみち」の歌と一緒に歌いました。つつい劇の中に引き込まれてしまう、大変楽しい劇でした。

なお、この演劇教室は、馬頭西小学校児童もいっしょに参加しました。また、両校の保護者で希望した数人の方も観劇しました。とても楽しかったと好評でした。

来年度は、音楽教室

- ・東京佼成ウィンドオーケストラ
- ・期日 9月26日
- ・場所 本校体育館

同オーケストラは、サックスの須川展也さんがコンサートマスターを務める日本でトップクラスの管楽オーケストラです。

お楽しみに！

学校評議員会開催 2月27日(水)

2月27日(水)、第2回学校評議員会が開催されました。今回の内容は、4校時の授業参観と給食の試食、学校評価についての意見交換でした。授業参観は、1年生から6年生までの授業の様子を順に参観いたしました。給食の試食では、評議員の皆さんは何十年ぶり？に食べたとのことですが、最近の食育事情にも関心が高く、食物アレルギーや好き嫌いのことなどが話題となりました。午後は、本校の学校評価について、教育状況のデータなども見ていただきながら、ご意見をいただきました。その概要を紹介いたします。

【意見の概要】

- ・学力について、応用力つけさせるためには、本日の授業（国語「物語を作ろう」や算数「数学へのとびら」）のような考える力をつける授業を低学年から積み重ねることが大切である。
- ・授業参観などの出席率が高いのは、わが子への関心の高さからであるので、子どもとの関わりの深いことを懇談会などで取り上げながら保護者の積極的参加を呼びかけるとよい。
- ・いじめ問題については、学年間の子どもの交流の機会を増やしたり、困ったときには相談したりできるようにすることが大切。

【今年度の学校評議員】

高野恵子氏、和知英夫氏、佐藤京子氏、鈴木恵二氏、高野祐治氏



園児が小学校訪問

2月5日 ひばり幼稚園

2月8日 中央・南保育園

平成25年度入学する園児が馬頭小学校を訪問しました。4月からの小学校生活に備えての学校見学です。学校長の挨拶の後、園児たちは秋元先生の案内で、まず、1年生の教室を訪問し、授業を見学しました。その後、職員室や校長室、保健室、図書室など、小学校の施設を見学しました。



1年生の授業を見学するひばり幼稚園児（写真上）。図書室の見学をする中央・南保育園児（写真右）。

【平成25年度入学児童】

ひばり幼稚園から	16名
中央保育園から	22名
南保育園から	2名
他の幼稚園等から	6名
合計	46名



見守り、ありがとう！ 老人会の見守り隊 2月27日（水）

那珂川町の老人会では、子どもの安全・安心確保のために貢献したいという趣旨で、下校時の見守りを実施することになりました。2月27日（水）は、その「見守り隊」が、試行ということで、室町交差点、広重美術館前交差点、東陽館前交差点の3箇所に立っていただきました。4月からは、本格的に老人会の「見守り隊」が実施され、各地区ごとに老人会のメンバーが要所に立ってくださるとのことです。

いじめを防ぐ 大沼えりこさんの講演会から

2月17日、小川のあじさいホールで、町青少年健全育成町民大会が開催されました。講師の大沼えりこさんは、仙台市で割烹の若女将の仕事をごこなしながら、保護司の活動をなさっています。少年院の院内放送のDJで少年の自立を支援したり、少年非行との関わりに関する本の執筆を行ったり、その熱い活動ぶりは全国的に有名です。また、彼女の著書を原作としたテレビドラマ「ガラスの牙」は放送ドラマで最優秀賞を得るなど話題を呼びました。

さて、その彼女のお子さんが、学校でいじめにあっていました。下の女の子が3年生の時、帰宅後の様子がいつもと違うのがきっかけで、しだいにいじめと気付いたそうです。でも、本人は、いじめられていることをお母さんには気付かれないよう振舞っていました。下校途中いじめられ泣いて帰っても、家の玄関をくぐる時には、すました様子でいたのだそうです。料亭の仕事で忙しいお母さんを心配させたくないという気持ちからでした。兄が小学校を卒業した5年生の頃からいじめはエスカレートし、自殺まで考えるようになりました。しかし、それを食い止めたのは、「それなら、お母さんも一緒に自殺する。」という母親の必死の説得と、私立中学校へ入学するという進路選択でした。私立中学校への進学後は、全く別人のように元気に生活するようになったとのことでした。

また、兄は、中学2年の時に不登校になったそうです。彼は、学校へ行かず、老人福祉施設での活動に生き甲斐を見出すようになりますが、何と、ずいぶん後になってから、自分がいじめにあっていたことを告白したのです。やはり、母に心配をかけまいとして告白できずに悩んでいたのです。

今、我が国で、いじめが原因と見られる自殺が起こっています。誰かに相談できていれば…とか、学校や家庭・地域がうまく連携しあっていたら…など、悔やまれる事例がたくさんあります。学校においては、全職員で子ども達を注意深く見守り、家庭や地域からの情報にも耳を傾けながら、丁寧な対応をしていきたいと考えています。



お世話になりました

読み聞かせボランティアへ御礼2月27日（水）

2月27日（水）、読み聞かせの最終日でした。図書委員会の代表児童（6年の大森さん・大久保さん・後藤さん）から、感謝の手紙と鉢植えパンジーをプレゼントしました。高橋さん・黒川さん・益子さんの3人の方には、1年間大変お世話になりました。

